

## テーマ

# 新燃岳噴火を想定した避難訓練について

鹿児島県霧島市立霧島小学校

## I 学校の概要（立地状況等含む）

本校区は、北に仰ぐ霊峰高千穂峰の山ふもとに抱かれ、霧島神宮を背景に、南に錦江湾・桜島を望む標高350m～450m、新燃岳より約7.3kmの地点に位置している。

## II 避難訓練の取組の概要

### 1 取組の内容、方法等

- (1) 新燃岳の噴火警戒レベルが気象台により、「5」に引き上げられたことを受け、市は新燃岳から5km以内の住民に対して、避難勧告を発令した。この想定での訓練である。
- (2) 噴火が起こった2011年1月26日を教訓として忘れないよう、毎年1月26日に訓練を実施している。  
市から全児童・職員に支給された避難用ヘルメットや防塵マスクを着用して行い、危機意識を高めている。

### 2 避難訓練のねらいと内容

- (1) ねらい
  - ア 児童が避難の仕方を覚える。
  - イ 教職員が避難の仕方、保護者引渡しの流れを確認する。
- (2) 内容  
第一に、児童を体育館に避難させる。次に、保護者が車で迎えに来て、児童を引き渡すことを想定した訓練とする。

### 3 避難訓練実施までに工夫したこと

- (1) これまで4年前に1回だけ、スクールバスを活用して近隣施設の駐車場に避難する訓練を行っていた。  
しかし、運転手は常駐していないこと、バスが来るまで時間がかかること、実際運転手にその役割を求められることができないことなど、課題を改めて検討し、現実的な避難方法へ見直した。
- (2) 霧島総合支所に効果的な避難方法について指導を仰いだ。
- (3) 本校はこれまで、保護者引き渡し訓練は未実施だったため、今回を機に、新燃岳噴火訓練に取り入れることにした。（風水害や不審者事案等でも対応できる。）
- (4) 2011年に新燃岳が噴火した際の様子が分かる動画を事前に視聴させた。

### 4 避難訓練の状況

- (1) 新燃岳噴火を想定した避難訓練
  - ア 開催期日 令和4年1月26日
  - イ 参加者 全児童、全職員

## (2) 避難訓練の実際



【1次避難：体育館へ移動する場面】



【体育館で待機し、保護者を待つ場面】



【2次避難：保護者への引渡し】

※ 今回は職員の車を使った引渡し想定訓練

## 5 取組の成果と課題

### (1) 成果

- 過去の取組を踏襲せず、職員で今一度、避難方法を見直したことによって、命を守るために最善で効果的な避難方法を身に付けさせることができた。
- 来年度の保護者引き渡し訓練に向け、シミュレーションすることができた。

### (2) 課題

- △ 車の流れがスムーズにいくよう、事前に県道の渋滞を緩和させるなど、対策を講じる必要がある。
- △ 最悪の事態も想定し、職員の車による輸送方法も考えておく必要がある。